

Aberli, Johann Ludwig

Les costumes des peuples de la Russie.

Berne, 1791. (文献番号 7-87)

アベルリ原画

ロシアの民族服

フランス語とドイツ語の書名を持つ本書は、1791年にスイスの首都ベルンで刊行された。標題紙を含め29枚のビュラン版からなる服装画集で、スイスの画家で版画家のヨハン・ルドヴィヒ・アベルリ (Johann Ludwig Aberli 1723—1786) の作である。『ロシアの民族服』と題した標記の書名の他に“Abbildungen aller Russischen Nationen” (あらゆるロシア国民の服装) とドイツ語で併記され、図版のキャプションもフランス語とドイツ語で記されている。

アベルリは風景画を得意とし、生き生きした描写はスイス国内で第一級の名声を得ていた。本書に描かれた多様なロシア国民の服装は、彼らが生活している地域の気候風土に調和し、素材も自然環境に適したものが用いられている。その民族を地域的にまとめて見ると次のようになる。①シベリアを中心とする北極海沿岸の狩猟民族：ツングース (エヴェンキ族)、サモイェド、オスティアク人。②ヴォルガ、ウラル、西シベリアの農耕民族：モルドヴァ、タタール、ヴォティアク人。③コーカサス地方の農耕、牧畜民族：アルメニア人。④ウズベック、カザック、ウイグル地方の遊牧民：キルギス人。⑤中央アジアの蒙古、モンゴル系の遊牧民：カルムク人、ブラッキー、ツェレミス族。

はがき大の図版には、アルファベットの順位付けがなされ、説明は巻頭の2頁に簡単なキャプションが記されているだけである。注記によるとアベルリの図版には、無彩色とカラーがあると記されているが、本書の29枚の図版には着色されたものはない。自然の風景の中に描かれた各地の民族衣装は、衣服だけではなく、かぶりもの、服飾付属品、はきものにもそれぞれの地域性が表れている。右図のブラッキー族のシャーマンの持ち物や衣服に取り付けた小物など宗教的な特徴が写し出されている。

主要な服飾関係の文献目録には収録されていないが、18世紀末にスイスで出版された本書は、異邦人の眼でとらえたロシア各地の民族服図集としては大変興味深く、珍書の一つともいえる。

(内野)

